

令和 8 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

児童生徒が個々の能力を最大限に発揮し、地域社会で豊かに生きることをめざして教育活動を推進する学校。	
1	キャリア教育の観点から連続性・発展性のある教育活動を充実
2	教育・関係機関との連携をさらに推進し、地域における特別支援教育の専門性の向上と「ともに学び、ともに育つ」教育のさらなる推進
3	人権尊重、危機管理の徹底および校内の課題に対し迅速に対応できる学校

2 中期的目標

1 早期からのキャリア教育の充実や自立活動の指導等における連続性・発展性のある教育活動の向上	
(1)	知的障がいのある児童生徒への早期からのキャリア教育の充実や自立活動の指導の充実
(2)	魅力のある学校づくりと学校イメージの発信
(3)	外部機関と連携した、教育的ニーズに応じた指導・支援のさらなる充実
※上記(1)(2)(3)の取組みにより校内における「キャリアパスポート」引継ぎ率100%をめざす。(新規設定)	
2 専門人材の活用や、多様な人材・機関と連携した学校づくり	
(1)	知的・発達障がいのある児童生徒の支援の在り方の理解を広げる
(2)	地域関係機関と連携し児童生徒の障がい理解や「交流および共同学習」を発展させる
(3)	校内の人材育成と開かれた学校づくりの取組み
※上記(1)(2)(3)の取組みにより学部ごとに連携している関係機関との継続的連携を明確化する。	
3 人権尊重の校内風土のさらなる醸成と安全・安心な教育環境の確保および取組みの充実	
(1)	学校保健・安全衛生管理等に関して学びを支える環境整備
(2)	安全・安心な教育環境の確保
※人権尊重・安全意識の校内浸透として、学校教育自己診断 教職員の肯定的回答 90%以上 (R5 88% R6 88% R7 88%)	
4 労働安全衛生管理体制の充実	
(1)	大阪府立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画に基づき働き方改革を推進する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R7年度値]	自己評価
1 連続性・発展性のある教育活動の向上	(1) 早期からのキャリア教育の充実や自立活動の指導の充実	ア キャリア教育の指導の充実のため R7年度に作成した全体計画をもとにキャリアプランニングマトリクスの見直しを進める。	ア 年度内に教職員へ成果物を完成させ内容を提示 [新規]	
		イ 自立活動の支援の充実に向け、R7年度に作成した全体計画をもとにキャリアプランニングマトリクスの見直しを進める。	イ アンケートによる効果検証 80%以上 [72%]	
		ウ R98年度より校内において、「キャリアパスポート」の作成を進める。	ウ キャリアパスポートを活用した、面談の実施 年1回以上 [新規]	
	(2) 魅力ある学校づくりと学校イメージの発信	ア キャリアルーム（販売・喫茶スペース）による販売活動と連携機関への販売活動の実施	ア 校内で新たに設置したキャリアルームを活用した販売活動と外部への販売活動の実施 →校内販売 年3回以上 校外販売 年1回以上 [校内3回・校外1回]	
		イ 魅力のある学校イメージの発信	イ 学校の取組みを発信するため、広報物の製作や新た発信の活用 →発信物（方法）の作成 年5回以上 [新規]	
	(3) 外部機関と連携しながら、教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	ア サポート企業・事業所制度の充実	ア サポート企業・事業所の新たな開拓 →年2社・事業所以上 [2社]	
		イ キャリア教育における外部人材の活用と出前授業の実施	イ 高等部における出前授業のさらなる充実 →各学年2回以上 [2回]	

府立東淀川支援学校

2 専門人材の活用や、多様な人材・機関と連携した学校づくり	(1) 知的障がい・発達障がいのある児童生徒への支援の在り方の理解を広げる	ア 専門人材による校内の教育課題における児童生徒へのアプローチに関する研修の実施	ア・ポジティブ行動支援 ・生成 AI・ICT に関する研修 →アンケートによる肯定的回答 75%以上 [新規] ・ICT を活用した授業づくり講座の実施 →年 2 回以上 [新規]	ア—
		イ 「身体への教育的アプローチ」のさらなる理解深化のために、福祉医療人材・「FBM」(ファシリテーションボールメソッド) 等における自立活動の実践につながる研修の実施	イ 教職員へのアンケートによる肯定的回答 90%の維持 [90%]	
	(2) 地域関係機関と連携し児童生徒の障がい理解や「交流および共同学習」の取組みを発展させる	ア 関係機関と連携した児童生徒の交流	ア 太鼓の演奏会参加における社会人団体との交流機会を増やす。 →年 2 回 [1 回]	
		イ 鹿児島県立鹿児島高等支援学校との遠隔交流会を実施	イ 年 1 回以上 [新規]	
		ウ 地域学校園との交流の充実	ウ 教育課程に位置づいた共同学習を進める →年 3 回以上 取組みの様子を学習発表として発信する [新規]	
	(3) 校内の人材育成と開かれた学校づくりの取組み	ア 若手教員の授業改善の実施により、初任→6 年期までの教職員を対象とした授業改善のために授業を録画し、指導教諭等と振り返りを行い、2 学期以降、再度撮影し、その変容を効果測定する。	ア 動画を視聴し、振り返りを行ったうえで、授業内容についてのアンケートを実施する。実施後の振り返りが役に立ったとの項目を設定し 20%アップさせる [新規]	
		イ 実践事例の発信	イ R 6・R 7 と蓄積した実践事例を冊子化し発信する→30 校園 [新規]	
		ウ 校内教職員の地域への発信力の向上	ウ ボランティア講座の開催 ⇒年 2 回以上 アンケートによる肯定的回答 90%以上 [90%]	
3 人権尊重の校内風土のさらなる醸成と安全・安心な教育環境の確保および取組みの充実	(1) 学校保健・安全衛生管理等に関して学びを支える環境整備	ア がん教育・近視進行予防の充実	ア 中・高等部におけるがん教育の実施 近視進行予防等における動画教材を活用し啓発活動に努める →各年 1 回以上 [新規]	
		イ 教職員の緊急時対応の知識と技能の向上	イ 緊急時対応についての動画を作成し、全体研修を実施する。 →教職員への研修後のアンケート 肯定的回答 75%以上 [新規]	
		ウ 児童生徒の健康教育・食育の充実 食への関心を高める機会の増加	ウ・食材を教材とした授業の実施 →年 1 回以上 ・中学部、高等部における出前授業の実施 →生徒へのアンケートによる肯定的回答 75%以上 [新規]	
	(2) 安全・安心な教育環境の確保	ア 教職員が主体となった施設・設備の環境整備	ア 校内の課題を明確にし、校内環境の整備を行う →年 4 か所以上 [R 6 5 か所、R 7 6 か所]	
	イ 児童生徒会に向けた、安全・安心な環境づくりの理解推進活動を行う	イ SPS・Safety Bicycle 認証に伴う生徒会活動の活性化 → 活動報告の場を 3 回以上設ける [新規]		
		ウ 人権尊重の校内風土の醸成のための校内メッセージの発信	ウ 児童生徒会が中心となった人権尊重ののぼり・横断幕等の作成 → 校内 2 か所以上での設置 [新規]	

府立東淀川支援学校

4 労働安全衛生管理体制の充実	(1) 大阪府立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画に基づき働き方改革を推進する	ア ICT を活用した業務の効率化、行事や会議の精選を検討し、学校運営の見直しを図る。 イ 職員の時間外在校等時間の縮減を図ため、校内定時退庁日定着のさらなる推進。 ウ ゆとり週間・月間の徹底に取組み年休取得を促進する。	ア <u>年間の時間外在校等時間が 720 時間を超える教育職員をゼロにする。</u> イ 年間時間外在校等時間が 360 時間を超える人数を前年度よりも減少させる → 8 人 [9 人] ウ 年次有給休暇の平均取得日数を 16 日以上にする。	
--------------------	---	--	--	--